

① 申請者	◎伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E				
③ タイトル							
(ふりがな)	「いたみもろはく」と「なだのきいっほん」 くだりざけがうんだめいじょうち、いたみとなだごごう						
「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷							
④ ストーリーの概要（200字程度）							
<p>江戸時代、^{いたみ}伊丹・^{にしのみや}西宮・^{なだ}灘の酒造家たちは、優れた技術、良質な米と水、酒輸送専用の^{たるかいせん}樽廻船によって、「^{くだりざけ}下り酒」と称賛された上質の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。酒造家たちの技術革新への情熱は、伝統ある酒蔵としての^{きようじ}矜持と^{しんしゆ}進取の^{きふう}気風を生み、「^{ほんしんかん}阪神間」の文化を育みました。</p> <p>^{ろっこうさん}六甲山の風土と人に恵まれたこの地では、水を守り米を育てる人々、祭りに集う人々、酒の^か香漂う酒造地帯を訪れ、^{くらびら}蔵開きを楽しむ人々が共にあり、400年の伝統と革新の清酒が造られています。</p>							
							
現存する日本最古の酒蔵 「 ^{きゆうおか} 旧岡田家住宅・酒蔵」		さまざまな酒造会社が ^{たるかいせん} 樽廻船の模型や実際に使われていた酒造道具等を展示		酒造りの天与の ^{てんよ} 霊水 ^{れいすい} 湧き出る「 ^{みやみず} 宮水」			
							
至る所で清酒文化活性化の取組みがなされている							
⑤ 担当者連絡先							
担当者氏名	中本 賢一						
電 話	072-744-2088	FAX	072-780-4068				
E-mail	nakamotok@city.itami.lg.jp						
住 所	伊丹市千僧1-1 伊丹市役所総合政策部空港・広報戦略室 都市ブランド・観光戦略課						

※昨年度申請実績

平成30年度申請タイトル
六甲山麓 清酒＜SAKE＞物語 ～日本一の酒どころ 伊丹と灘の不易流行にとことん酔う～
変更内容
<ul style="list-style-type: none">・タイトルを一新し、ストーリーの中で、流通（伊丹・灘から江戸への「下り酒」・樽廻船）・原材料（水、米）などの記述に重点を置き、ダイナミックさを重視した。・構成文化財をストーリー順に並び替えるとともに、ストーリーを補完する説明に修正した。・地域活性化計画は「活用整備事業」及び「人材育成事業」に重きをおき、「調査研究事業」「普及啓発事業」「情報コンテンツ作成事業」のバランスを見直した。